

# 拡大常任理事会で「秋から年末の取り組み」を協議！

9月22日の緊急代表理事懇談会の協議を受けて、29日に[拡大常任理事会]を開催

## 県内平和宣伝活動は、地域ブロックで具体化しよう！



9月29日（金）県平和委員会・拡大常任理事会は、青少年会館で12人が参加して開催されました。議長は海老沢事務局次長でした。

9月16日（土）、第3回理事会で「秋から年末の取り組み」を協議し、10月の「平和宣伝行動」が具体化されましたが、安倍政権が「モリ・カケ疑惑隠して臨時国会冒頭解散」を強行することが明らかになりました。衆院選挙は10月10日（火）告示、10月22日（日）投開票です。

この緊急事態に、県平和委員会としてどのように対応したらよいかを、9月22日（金）に、緊急代表理事懇談会を開催して、善後策を協議しました。結論は「緊急に拡大常任理事会を開催して協議する」ことになりました。

### ◆市民と立憲野党の共同を分断・破壊をねらい、国会内で改憲勢力の増大を図る「希望の党」

今回の総選挙は「モリ・カケ疑惑かくし解散」です。同時に「憲法改悪を許さない」、戦争する国づくりを狙う安倍政権を退陣させる重要な選挙です。その上「憲法は変える。安保法制は継続する」ことを踏み絵として、民進党を解党し、市民と立憲野党の共同を破壊する、第二自民党的な「希望の党」が結党され、一部マスコミが持ち上げています。このままでは改憲勢力が圧倒的多数の国会になります。

◆事故のないよう、注意して取り組みましょう。

### ◆地域の状況に応じて具体化し、10月を中心にして積極的に宣伝活動に取り組もう！

選挙期間中でも当然、平和委員会のような選挙に直接関係しない宣伝活動はできます。国民の権利「思想・信条・表現の自由」実現のための重要な取り組みです。但し「公職選挙法」上の制約のため、一定の注意は必要です。

### ◆詳細を「地域ブロック」で話し合い、納得のいく取り組みの方法を決めよう！

- ①地域で宣伝カーの準備を。道路使用許可を早めに提出。費用は県事務局へ！
- ②カラーチラシ（B4裏表）を事務局で準備する。必要枚数を早急に事務局へ！  
・選挙中でも撒くことのできる内容になっています。
- ③横断幕は事務局で準備する。「縦×横」の大きさ、枚数を事務局へ！  
「憲法九条を守れ！ 戦争を許すな」「東海第二原発の再稼働を許すな！」（案）
- ④宣伝文や音声は事務局で用意する。ICレコーダー等は各平和の会で準備する。
- ⑤ガソリン代は、半額を、ブロックの責任者を通じて事務局へ請求する。

## 輝け！憲法 守ろういのち 2017

### 憲法9条の会つくば12周年のつどい

＜資料代1000円＞

■ 記念講演 「東アジアの平和をどう創るか」 - 北朝鮮、中国問題にもふれて -

川田忠明（日本平和委員会常任理事、日本原水教全国担当理事）

■ ゴスペルで平和を歌う VOJA - Tension 「太鼓一片岡平さん」

● と き 2017年10月9日  
● (月/休日)  
● 開場 13:00 開会 13:30 ~  
● ところ 市民ホールとよさと  
● 主 催 憲法9条の会つくば  
● 問合せ 事務局  
● 080 - 5888 - 7824

**短歌三首**

(常陸太田平和の会) 深谷武久

**8・26 茨城アクション**

原発を止める市民の道具あり  
手をつなぎゆく人間の鎖

声張りし軽き疲れにメール来る  
集会参加者千百人と

いちにんの願いを和して進む  
時脱原発の未来生まれる

**歓迎！新入会員のみなさんです。**  
**よろしくお願いします。**

.....

○ \*\* \*\* さん (土浦市)

\*ともに平和の声をおおきく広めていきましょう！

**平和新聞** 2017年10月5日（木）  
2150号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

**平和かわら版** 平和新聞茨城版 No. 789  
2017.10/5  
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

**「秋の宣伝チラシ」の骨子、検討すすむ！**

東海第2原発は  
20年延長やめ廃炉に  
大地震 津浪 原発 複合災害  
30年以内に70%超の確率  
地震帯の真上に  
全国一の老朽原発

憲法変えるな 政治を変えよう  
憲法9条壊憲は 戦争への道  
「3項に自衛隊明記」のからくり  
入口は「自衛隊」、出口は「国防軍」  
「3項に自衛隊を明記して2項を空文化させる」  
憲法9条 自衛隊員の戦闘参加を防ぐ  
南スーダンから撤退



原子力施設と  
人口の超過密地域  
3. 11 その時東海第2原発は  
なぜ再稼働に固執？  
原子カムラの利益のため  
県民の声を集め  
20年延長を断念させよう

平和求める国民の共同  
3000万署名の力で9条守ろう  
北朝鮮の核・ミサイル実験に断固抗議する  
軍事衝突回避・対話による解決を  
国民が知らない間に戦争に巻き込まれる  
北朝鮮理由に際限のない軍備拡大



**第18回「JCO事故を忘れない 茨城集会」開催！**

**日本原電が、東海第二原発の20年延長を狙うなか**



10月1日（日）、午後1時30分から、東海村情報産業プラザ（アイヴィル）で、「9.30 JCO事故を忘れない 原子力事故を繰り返させない 2017年9.30 茨城集会」を開催しました。東海第二原発が来年11月に稼働40年を迎え、20年の稼働延長を狙う日本原電が、「20年の稼働延長申請」をするのではないかと、緊張の中で開催されました。

1999年9月30日に起こった事故以来、毎年実行委員会を結成して開催してきたこの集会に対し、県内44自治体中30自治体の首長からメッセージや祝電がありました。

その一方、例年出していた東海村の「後援」が今年は「不許可」としました。「原発に批判的な集会は、中立の立場でなくてはならない村の趣旨とは異なる。政治的だから許可できない」という理由です。知事選の影響かとも思われますが詳細は分かりません。

・茨城・福島・新潟から3人のシンポジストが発言  
田村実行委員長挨拶のあと、「東海第二原発の20年運転延長を考

える」シンポジウムに入りました。「東海第二原発の安全確保に関わる問題」で東海村在住の小林栄次氏（原発問題住民運動全国連絡センター代表委員）、「低線量汚染地域で生きる苦悩」で福島県の菅家新氏（いわき市民訴訟団）、「柏崎刈羽原発審査合格 新潟県の今後の対応」で新潟県の立石雅昭（新潟大学名誉教授 新潟県原発技術委員会委員）氏の3人がシンポジストです。

小林氏は、東海原発の老朽化による配線の劣化や久慈川からくるヘドロやごみの影響で冷却水取水やポンプ事故の危険性を指摘。これらのことが考慮すれば20年延長は考えられないとしました。菅家氏は、福島原発事故の被災者の生活や故郷に帰れない様子などをリアルに語りました。また立石氏は、原発の危険性に対して住民思いの原点はやはり福島原発事故であり、その苦しみや大変さを共有できるのかどうかにかかっていると、運動の根本に住民の意思のあることの重要性を指摘しました。

東海第二原発の稼働20年延長反対の運動を進めるために貴重な集会でした。

**またしても緊急着陸・墜落した米軍オスプレイの飛行中止、撤去を求める**

2017年9月30日 日本平和委員会

昨日（9月29日）、米海兵隊普天間基地（沖縄県宜野湾市）所属の垂直離着陸機MV22オスプレイ2機が、沖縄県の新石垣空港に緊急着陸した。原因は明らかにされていないが、エンジントラブルが発生したとの情報がある。またシリアでは、軍事作戦を支援していたオスプレイが墜落した。昨年12月の沖縄・名護市での墜落、8月のオーストラリア沖での墜落、6月の伊江島、奄美大島、9月の大分空港への緊急着陸に続く事故である。

もはや、オスプレイがいつ墜落・事故を引き起こすかしのれない、危険な欠陥機であることは明白である。私たちは安倍政権が国民の命と安全をないがしろにし、米軍・米政府の言いなりになってその飛行・訓練を容認していることに強く抗議する。今回の事故の原因を明らかにするとともに、すべてのオスプレイの飛行をただちに中止し、普天間基地からオスプレイを撤去することを、断固として求めるものである。計画されている全国各地での軍事演習へのオスプレイの参加計画を中止し、千葉・木更津のオスプレイ整備拠点の撤去、横田基地への米空軍特殊作戦用CV22オスプレイ配備計画の中止、自衛隊へのオスプレイ導入と佐賀空港、熊本・高遊原分屯地などのオスプレイ基地化計画の中止を強く求めるものである。

**安倍内閣、「不支持」が再び上回る！**

共同通信社は、9月30日～10月1日の両日、衆院選に向け支持動向などを探る全国電話世論調査を実施しました。有権者がいる世帯にかかったのは893件、うち611人から回答を得ました。携帯電話は、電話がかかったのは1312件、うち608人から回答を得ました。

- 内閣支持率は・・・
- 「不支持率」 46.2% (4.9%増)
- 「支持率」 40.6% (4.4%減)
- 望ましい選挙結果は・・・
- 「与野党勢力が伯仲する」 48.6% (ほぼ横ばい)
- 「与党が野党を上回る」 27.4% (5.0%減)
- 「与野党が逆転する」 16.9% (倍増)
- 安倍首相の下での改憲に・・・
- 「反対」 53.4%
- 「賛成」 34.0%

**9月末世論調査**